令和８年度

スタートアップ支援事業　事業概要

GSSC
Gifu Startup Support Consortium

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムのロゴは、
岐阜県立岐阜商業高等学校LOB部の学生が作成しました。

LOB部‥(株)GIFUSHOの業務を通して、企業活動等を学ぶ部活動

令和8年度 スタートアップ支援事業の展開

スタートアップ・エコシステム
強化に向けた重点プログラム

スタートアップ支援に係るネットワーク形成・気運向上、スタートアップの創出・育成の取組みは継続実施しつつ、
スタートアップエコシステム強化に向けた共創・連携の「モデル事例づくり」に注力

1 スタートアップ支援ネットワークの充実

＜産経センター事業＞

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムを核としたネットワーク強化

○スタートアップ支援コンソーシアム事業費補助金

・産学金官が一体となってスタートアップに関する気運向上と、スタートアップを生み育てる環境を整備
　ぎふプライムスタートアップの認定、セミナー・交流会の開催、
　情報共有・発信等

中部圏の自治体と連携した広域エコシステムの形成

○中部圏スタートアップ・エコシステムコンソーシアム負担金

・セントラルジャパン・スタートアップ・エコシステム コンソーシアムに参画し共同イベントの開催や情報発信などを実施

スタートアップ・支援機関・事業会社からの相談への対応、マッチング支援

○スタートアップ専門コンシェルジュ設置事業

・スタートアップの経営や支援に精通した専門家による相談窓口の設置と、ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの活動の側面支援

2 スタートアップの更なる創出に向けた人材育成

若者へのアントレプレナーシップ教育の充実

○起業家精神育成プロジェクト事業費

・ぎふスタートアップ支援コンソーシアム会員と連携し、中高生向けのワークショップ、高校への出前授業、ビジネスアイデアコンテスト等を実施

スタートアップに挑戦する起業人材の発掘・育成

○技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援事業費

・大学や研究機関の研究技術を活用して事業化や起業を検討する学生や研究者を支援し、将来の「ぎふプライムスタートアップ」となる人材を発掘、育成

3 スタートアップの創出・育成のための資金支援

女性、障がい者
：補助率を優遇

スタートアップの創出・事業加速化のための支援

○スタートアップ等創業支援事業費補助金

・スタートアップの創業、県内中小企業の第二創業に必要となる経費の一部を補助

○スタートアップ事業加速化支援事業費補助金

・創業５年未満の県内スタートアップの事業推進に必要な実証実験や試作品開発などの経費の一部を補助

「ぎふプライムスタートアップ」の認定と成長ロールモデルの創出

○ぎふプライムスタートアップ支援事業費補助金

・ぎふスタートアップ支援コンソーシアムが認定する、他の模範となり得るスタートアップの事業加速化に必要な経費の一部を補助

4 スタートアップとの共創・連携事例の創出と横展開

共創・連携モデル創出プログラム

県内企業のオープンイノベーションの促進

【拡】スタートアップとのオープンイノベーション促進支援事業費

・支援を希望する県内企業を公募し、スタートアップとのオープンイノベーションに向けた課題整理、マッチングなどを伴走支援し、共創による新事業展開のモデル事例を創出

市町村等の官民連携による地域課題解決の促進

【新】スタートアップとの官民連携促進事業費

・スタートアップが強みとする新しい技術やビジネスモデルを、地域課題の解決に活用するために、行政とスタートアップとの連携を促進
・県や市町村が抱える地域課題の明確化、共に解決を図るスタートアップとのマッチング、実証事業の実施などを支援

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの取組について

産

・商工会議所連合会
・産業経済振興センター（事務局）
・投資専門会社　　等


産経センター


民間拠点

学

・岐阜大学
・岐阜協立大学
・岐阜薬科大学
・核融合科学研究所 等


岐阜大学拠点

ぎふスタートアップ支援コンソーシアム

会員数（スタートアップも入会）・・・ 設立時 (R5.6)：６０ → 現在 (R8.8末)：１７９

金

・日本政策金融公庫
・十六銀行
・大垣共立銀行 等


十六ＦＧ拠点


ＯＫＢ拠点

官

・岐阜県
・中部経済産業局
・県内市町


ソフトピア


岐阜市拠点

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの役割





コミュニティ形成・交流促進

機運醸成・マッチング・情報交換などを目的に交流会を開催
スタートアップピッチに加え、第二創業や首都圏における交流会、
Tech GALA等でのイベントなど毎回テーマをかえることで、
多様な人材の交流を促進。

ぎふプライムスタートアップの認定・支援

他のロールモデルとなるスタートアップを
「ぎふプライムスタートアップ」として認定し、
重点的に支援



ぎふプライムスタートアップ14社



スタートアップの創出・事業拡大等に向けた支援（補助金）

○スタートアップの創出や事業拡大等に向けて補助制度により支援

①スタートアップ等創業支援補助金

・対象者　：新技術などを用いて地域の課題解決に資する事業を行う新規創業者、第二創業者
・補助率　：新規創業者　1／2以内（女性・障がい者2／3以内）、第二創業者　1／2以内
・補助上限：いずれも200万円

②スタートアップ事業加速化補助金

・対象者　：新製品、新サービスの実証、開発、販路拡大等を行う創業5年未満の者
・補助率　：1／2以内（女性・障がい者2／3以内）
・補助上限：300万円

③ぎふプライムスタートアップ支援補助金

・対象者　：ぎふスタートアップ支援コンソーシアムが認定する「ぎふプライムスタートアップ」
※ぎふプライムスタートアップ認定の申請条件として、ビジネスプランコンテスト入賞した事業であることなどが必要
※ぎふプライムスタートアップ認定後5年以内に合計3回までの補助金交付申請が可能
・補助率　：新規申請　2／3以内（女性・障がい者3／4以内）、再申請　1／2以内（女性・障がい者2／3以内）
・補助上限：1,000万円

【県】　スタートアップとの官民連携の促進

新規

○スタートアップの技術やビジネスモデルを、地域課題の解決に活用するため、県内自治体が抱える課題を明確化し、課題解決を図るスタートアップとの連携体制の構築や実証事業などを支援

事業の流れ

STEP1　**地域課題の募集・テーマ設定　（～８月下旬）**

・県及び市町村から地域課題を募集（2/20～4/22）
・支援対象者及び課題を選定（５月上旬）
・課題を深掘りして本質を整理しテーマ設定

STEP2　**スタートアップの募集・マッチング（～１０月中旬）**

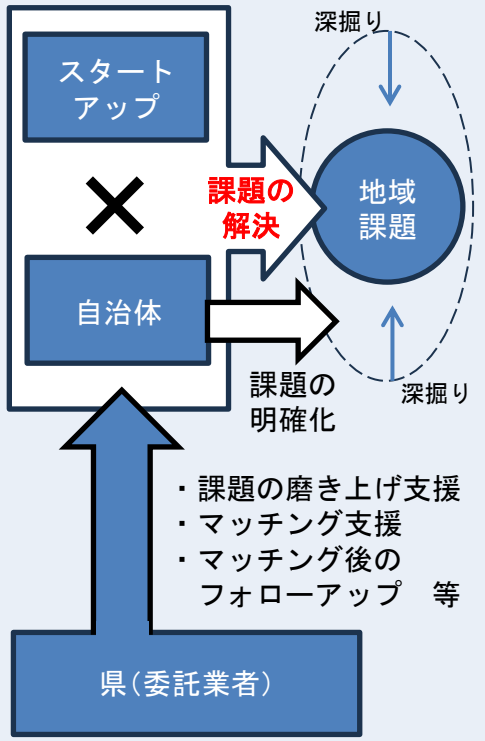
・スタートアップの募集・探索、自治体によるリバースピッチ
・スタートアップとのマッチング

STEP3　**課題解決に向けた実証事業の実施（～２月中旬）**

・自治体とスタートアップによる実証事業を伴走支援

STEP4　**官民連携セミナー・成果報告会の開催（２月中旬）**

・取組の横展開に向けた事例の共有



官民連携による地域課題、行政課題の解決　→　官民連携の好事例の創出、官民連携への気運醸成
スタートアップと官民連携に取組む県内自治体の拡大 → スタートアップの成長・県内定着

【県】　既存県内企業とスタートアップとのオープンイノベーションの促進

拡充

○スタートアップとのオープンイノベーションに取り組む県内企業の拡大を図るため、連携手法を学ぶセミナーの開催に加え、連携に向けた課題の整理・明確化やスタートアップとのマッチングなどを支援

事業の流れ

【県内既存企業が対象】

県内企業の募集
オープンイノベーションに関心を持つ県内企業の裾野の拡大

＜6～7月＞

○伴走支援を希望する県内企業の募集
○スタートアップとのオープンイノベーションを推進している経営者による実例紹介や、スタートアップとの連携手法等を学ぶ啓発セミナー

メンタリングやマッチング支援等の伴走支援

＜8～2月＞

○月２回のメンタリングを通して、自社のアセットや課題の整理、スタートアップに求める要件や機能などを明確化
○協業要件に適したスタートアップの紹介を行うなどのマッチング支援
○マッチング後は、円滑に協業が進むよう支援を継続

成果報告会

＜1～2月＞

○マッチングした成果報告や伴走支援の整理内容を他参加者へ紹介し、県内企業のオープンイノベーションに対する気運を高める

オープンイノベーションによる新しい技術・サービスの開発　→　県内企業の事業の多角化・高収益化
スタートアップとオープンイノベーションに取組む県内企業の拡大 → スタートアップの成長・県内定着

【県】コンソーシアム会員と連携した中高生の起業家精神育成

○中高生の起業家精神育成を図るため、**ぎふスタートアップ支援コンソーシアム会員と連携**し、中高生向けのワークショップや高校への出前講座、ビジネスプランコンテストを開催

○高校生向けの出前講座やビジネスプランコンテスト

- コンソーシアム会員による高校への出前講座（ビジネスプラン作成講座等）
- コンソーシアム会員による高校生を対象としたアントレプログラム（高校単位でなく参加者公募式）
- 高校生が出前講座などで学んだだけで終わらないように、**成果・出口として、「ぎふビジネスプランコンテスト」を会員と連携して県主催で開催**
- コンテストに向けたブラッシュアップ講座も県と会員が連携して実施

○将来を見据え、**中学生を主な対象とする「岐阜アントレプレナーシッププログラム」を実施**

令和8年度の実施イメージ

（～夏頃）	１２～２月頃
高校生を対象としたアントレプレナーシップ教育プログラム（高校単位でなく参加者公募）【コンソ会員】 高校等を対象とした出前授業等【コンソ会員】 **主に中学生を対象とした岐阜アントレプレナーシッププログラム【県】**	**高校生等を対象としたぎふビジネスプランコンテスト（最終審査会）【県（会員協力）】 ※募集は夏頃～**

【県】 その他主な支援事業

○スタートアップ専門コンシェルジュの設置

・スタートアップ等の相談対応、コンシェルジュ・コンソーシアムの情報発信、スタートアップ等に関する情報収集等

・相談方法・料金：オンライン、対面・無料

・申し込み方法：予約制（専用サイト、メールなど）

・設置場所：県産業経済振興センター内（原則週３日）

○技術活用型スタートアップ掘り起こし・加速化支援

・県内において潜在的なビジネス性のあるテック系の研究シーズを抱える人材の発掘。

・うち事業化を希望する者の中からプログラムの参加者を選定し、定期的に面談を行いながら、
ビジネスモデルの構築等に向けた伴走支援を行うほか、先輩スタートアップとの交流会・成果報告会を開催。

事業の流れ　【大学や研究機関の研究者等が対象】

(1) 掘り起こし、面談（6～7月）
- ○研究者ネットワークへ連絡、各大学URA等との連携
- ○コミュニケーター面談１チームにつき１回以上

(2) 申請・審査（8月上旬）
- ○選定基準を設け、県および提案者で協議の上、重点的に加速化支援を行うチームを5チーム程度選出

(3) 掘り起こし、面談（8～１月）
- ○採択チームに対して加速化支援を実施
- ○各チームの課題点を踏まえて目標を設定
- ○コミュニケーター面談を１チーム3回から5回実施

(4) 成果報告会（１～2月）
- ○採択チームの加速化支援の成果を発表する報告会を実施
- ○起業家交流会との併催も想定

【県】セントラルジャパンスタートアップ エコシステム コンソーシアム参画

〇令和７年６月にスタートアップエコシステム拠点都市 グローバル拠点都市（広域都市圏型、内閣府）に選定された「セントラルジャパンスタートアップ エコシステム コンソーシアム」に参画し、広域連携を図る。

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

代 表 者：（一社）中部経済連合会 会長
事 務 局：名古屋市
構　　成：（一社）中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ、約300の企業・団体・大学等
ビジョン：「世界における最先端のものづくりイノベーションの中心地」
ものづくり技術や生産ノウハウなどを世界のスタートアップの革新的な技術やビジネスモデルと融合させ、イノベーションをリードするグローバルな拠点に。

区 分	効果
コンソーシアム構成団体などとの連携	・大規模スタートアップ関連イベントへ出展 ・コンソーシアム構成団体との支援事業の情報共有、連携強化など
J-Startup Centralの対象地域の拡大	・県内スタートアップがJ-Startup Centralの認定を受けることで、JETRO等と連携した海外進出に関する支援や経産省補助金における優遇措置が得られる